

# 2017年12月期 第2四半期 決算説明資料

サイオステクノロジー株式会社  
(東証二部 : 3744)  
2017年7月31日

# 目次

---

- I 2017年12月期 第2四半期業績の概要**
- II 持続的成長への取り組み**
- III 中期損益計画および通期業績予想**



# 2017年12月期 第2四半期 業績の概要

# 2017年12月期 第2四半期 業績（連結）



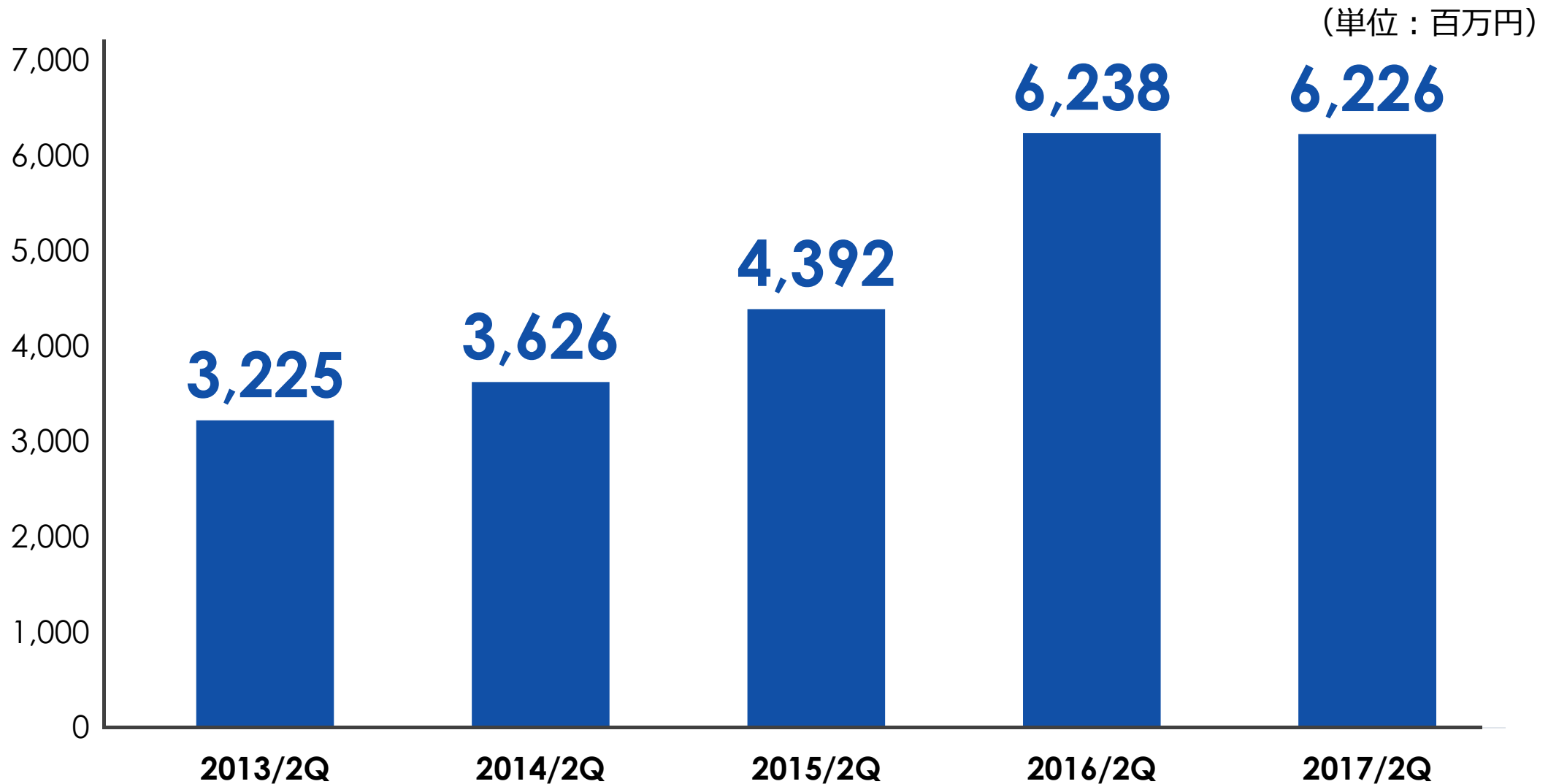
(単位：百万円)

	16年12月期 1-2Q実績	17年12月期 1-2Q実績	差額	前年同期比
売上高	6,238	<b>6,226</b>	△11	△0.2%
売上総利益	2,268	<b>2,162</b>	△106	△4.7%
営業利益	330	<b>173</b>	△156	△47.5%
経常利益	292	<b>184</b>	△108	△37.0%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	88	<b>89</b>	+0	+1.1%
EBITDA	417	<b>260</b>	△156	△37.5%

※EBITDA・・・営業利益＋減価償却費＋のれん償却額

# 第2四半期 連結売上高の推移

大幅増収となった前期からわずかに減収



オープンシステム基盤事業は順調に増収したものの、アプリケーション事業は下期主体で見込んでいるため減収となった。

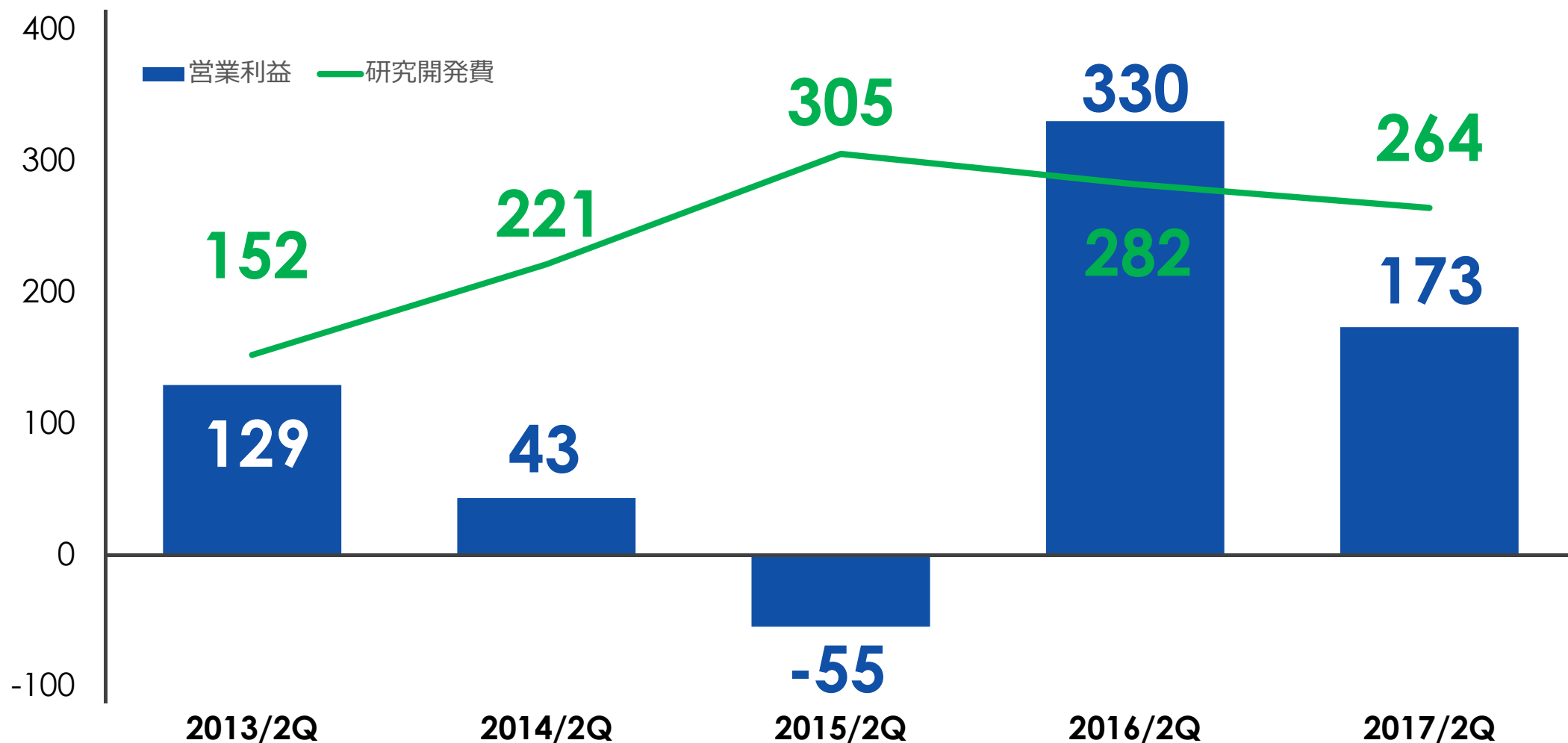
(単位：百万円)



# 第2四半期 連結営業利益および研究開発費の推移

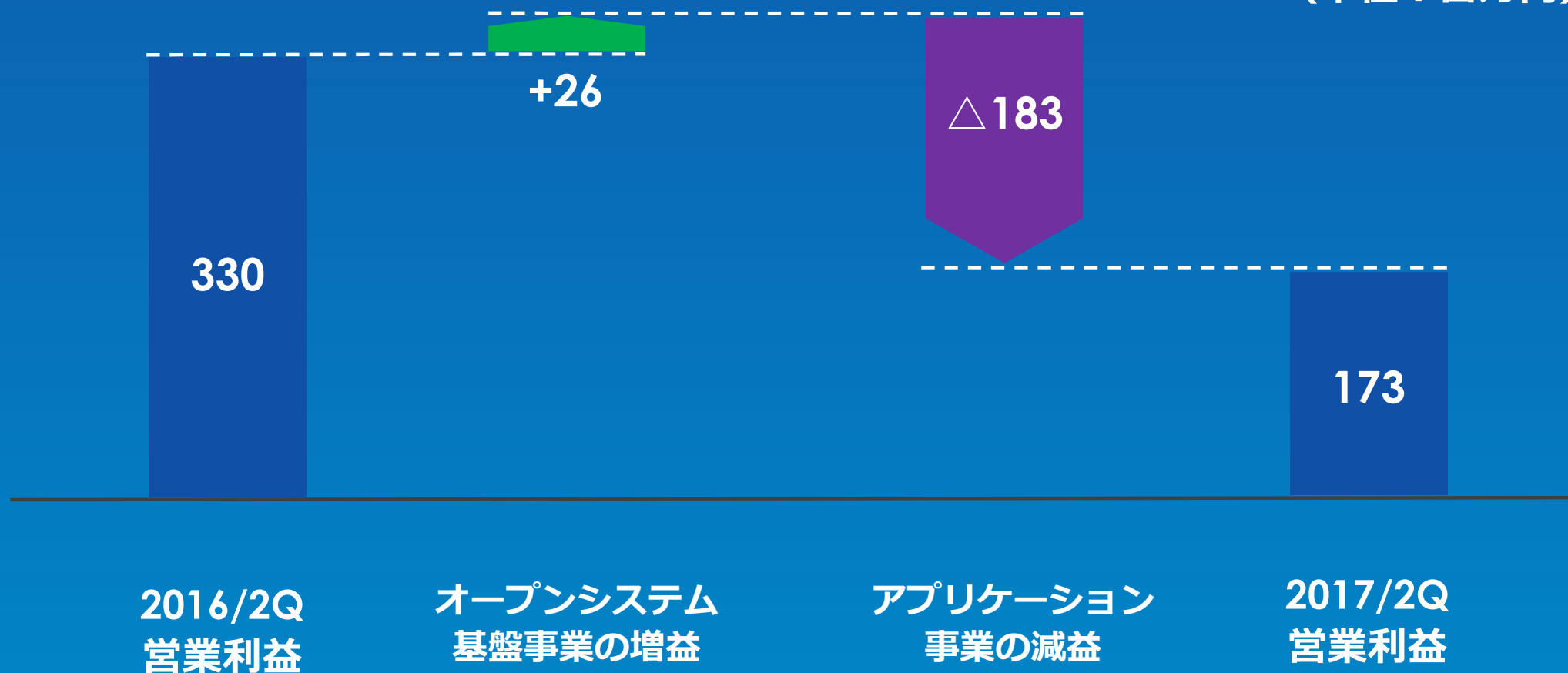
- 営業利益は前年同期比**156百万円減益**
- 研究開発への**継続的投資**

(単位：百万円)



オープンシステム基盤事業は増益となったものの、  
アプリケーション事業での減益が響き、  
営業利益は前年同期比で減益

(単位：百万円)

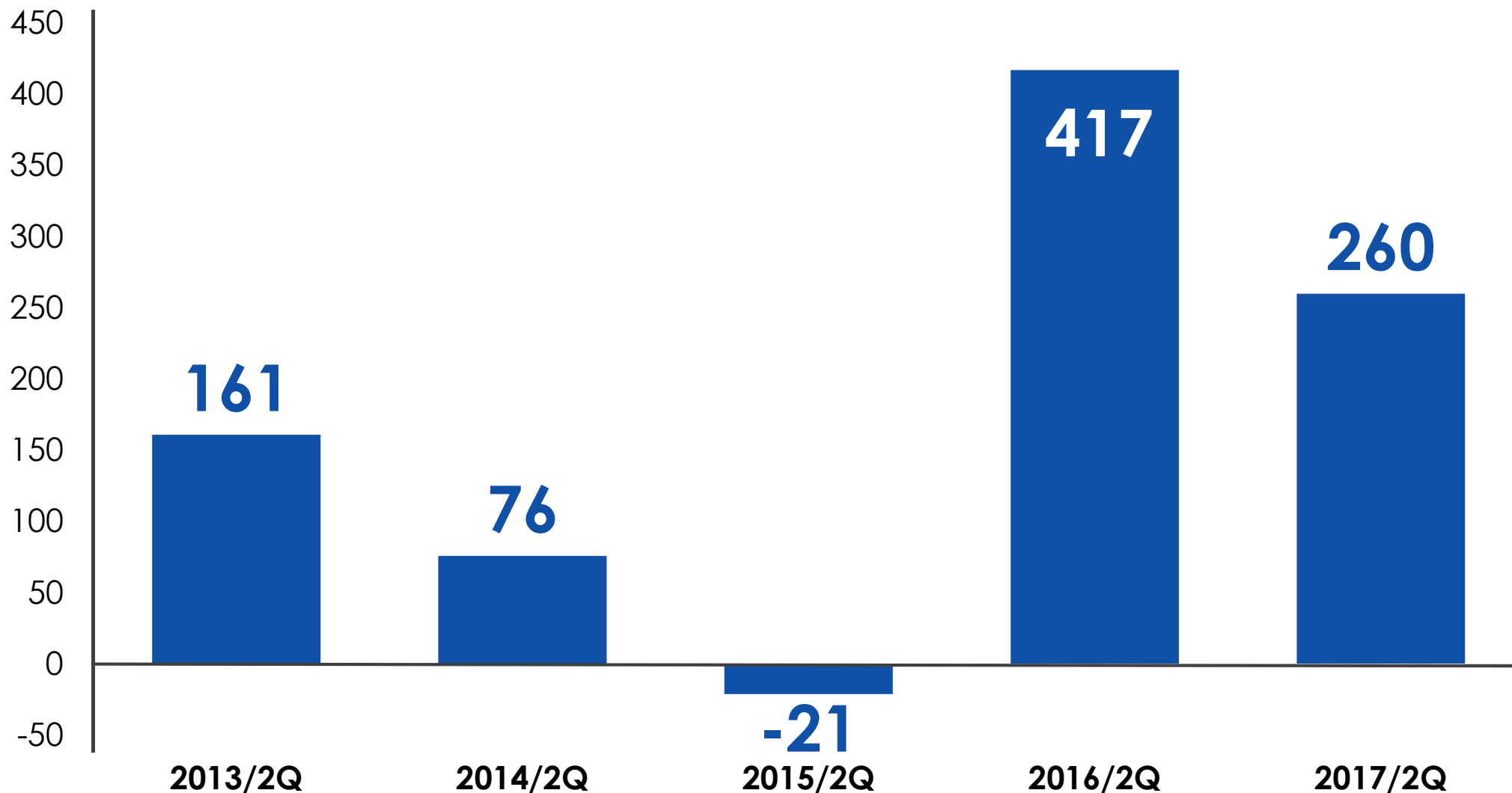




# 第2四半期 連結EBITDAの推移

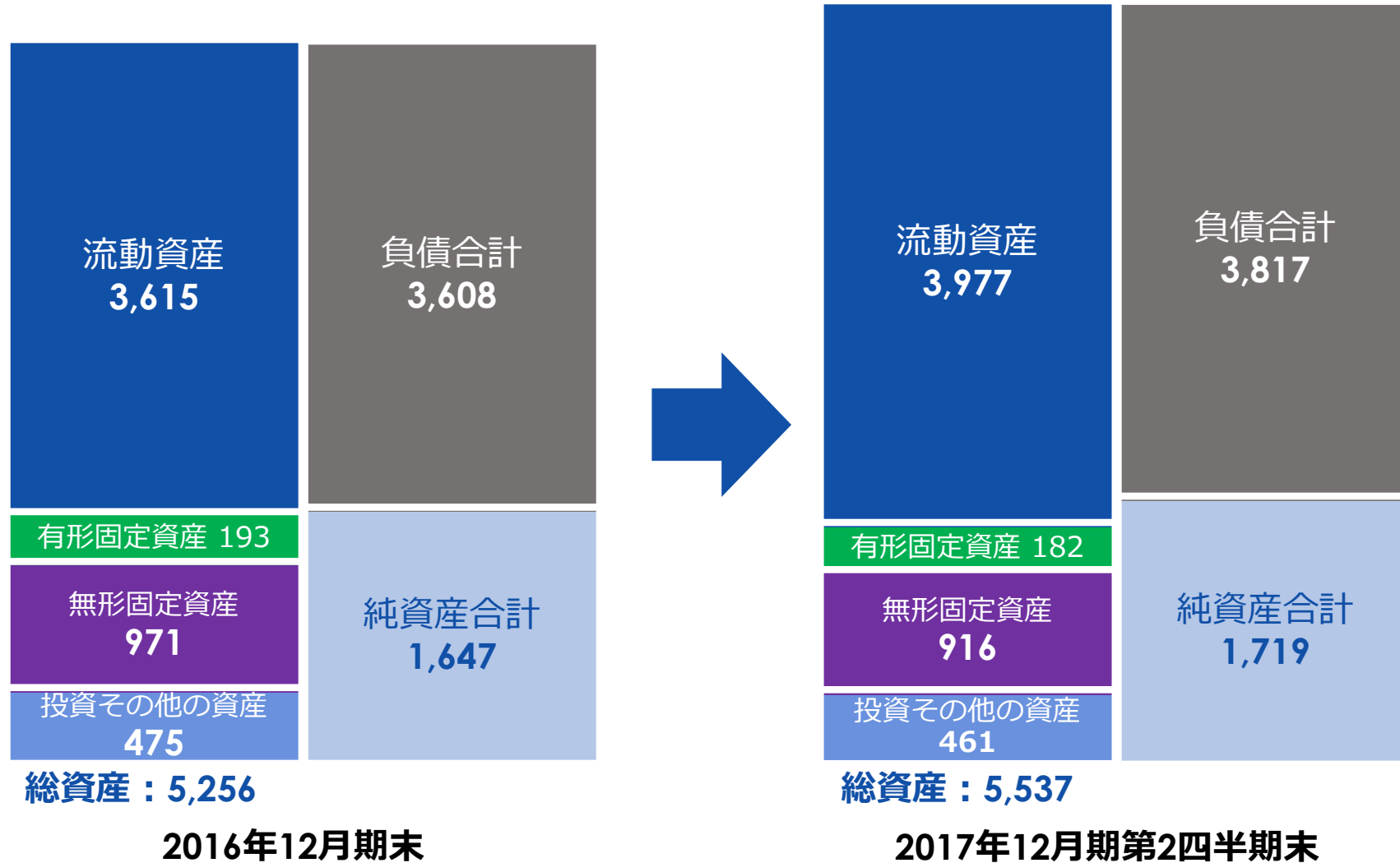
前年同期比156百万円減少

(単位：百万円)



# 貸借対照表（連結）

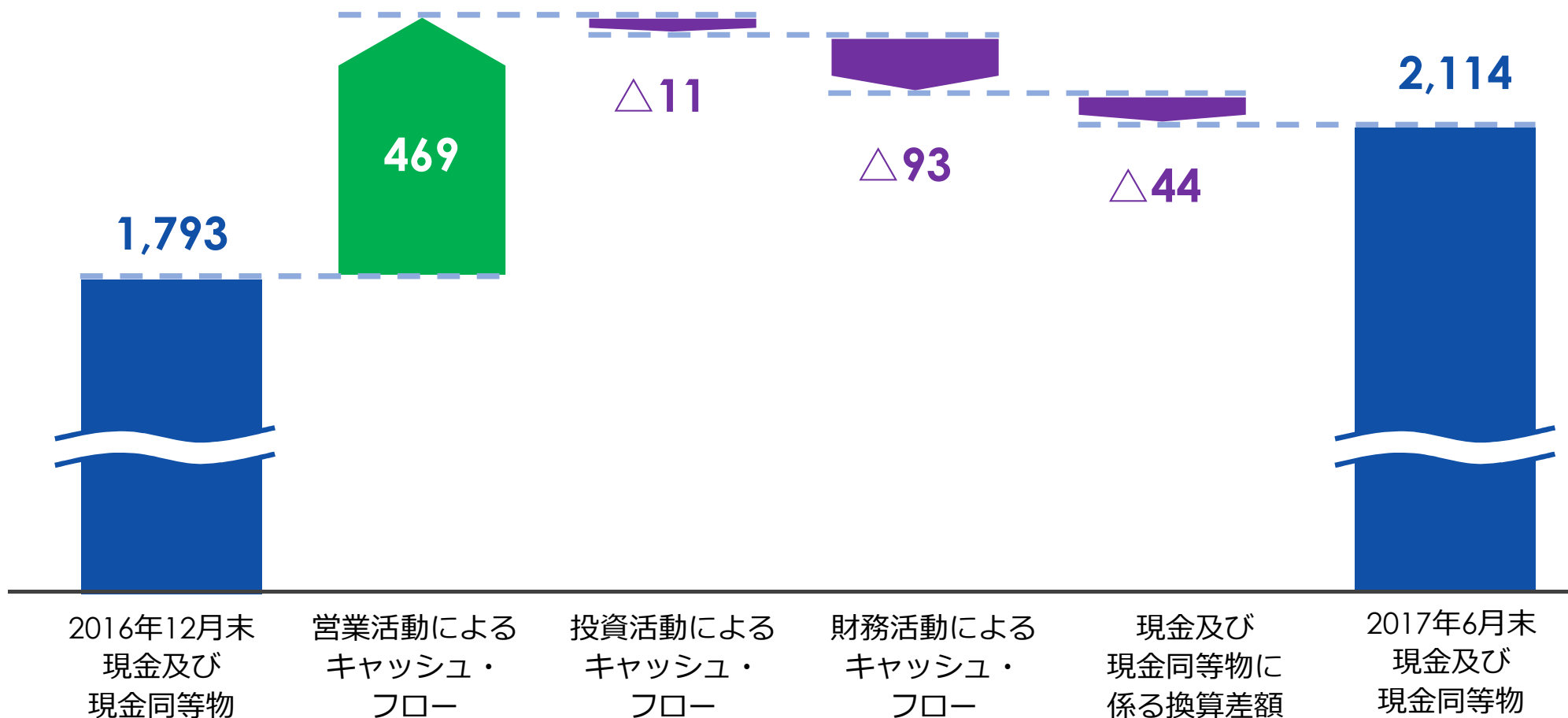
(単位：百万円)



- **流動資産**：現金及び預金が320百万円増加
- **負債合計**：前受金が244百万円増加

# 第2四半期 キャッシュ・フロー（連結）

（単位：百万円）

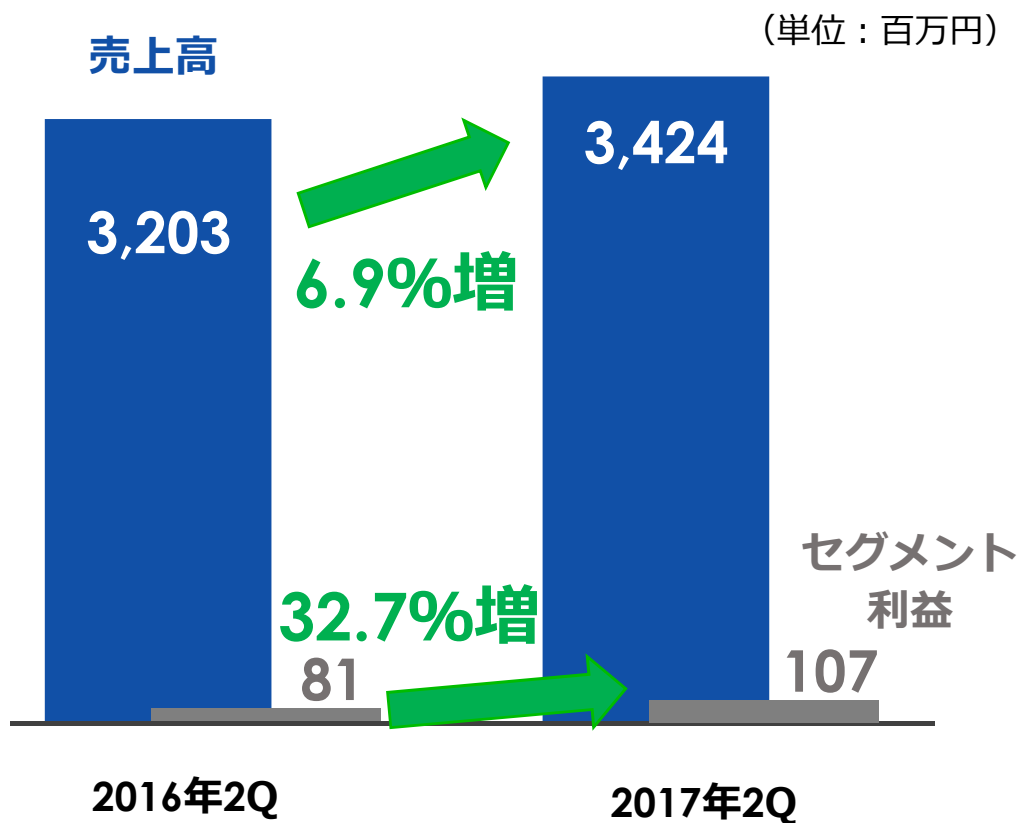


- 営業活動によるキャッシュ・フローの積み上げで、  
潤沢な資金を確保

# オープンシステム基盤事業



売上高	3,424百万円（前年同期比 6.9%増）
セグメント利益	107百万円（前年同期比 32.7%増）



## 売上高

- 当社主力製品の「LifeKeeper \*」は順調な増収
- OSS \*サポートサービスやOSS関連商品は順調な増収
- Red Hat, Inc.関連商品\*の販売は堅調な増収

- 第2四半期としては過去最高の売上を達成

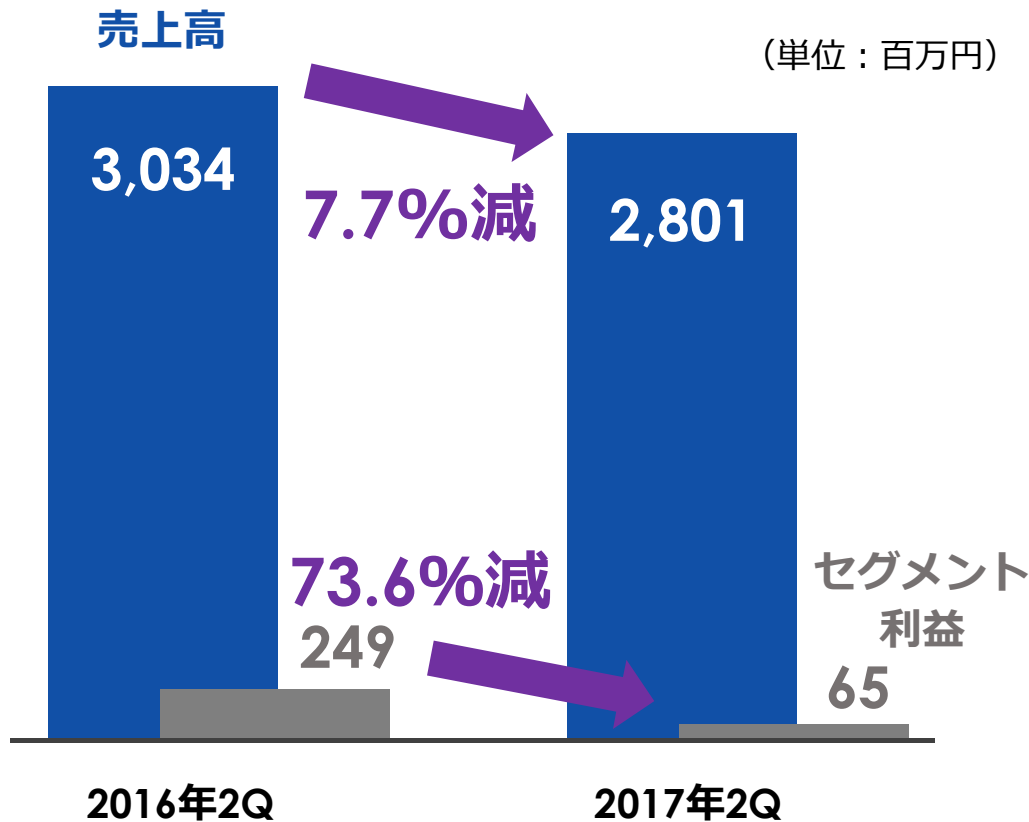
## セグメント利益

- 利益率の高い「LifeKeeper」が増収となったこと等により増益

※ 「\*」を付した用語につきましては、26ページに解説を記載しております。

# アプリケーション事業

売上高	2,801百万円（前年同期比 7.7%減）
セグメント利益	65百万円（前年同期比 73.6%減）



## 売上高

- MFP向けソフトウェア製品\*は**順調な増収**
- 金融機関向けアプリケーション製品の販売は、前期は上期偏重であったが、当期は下期主体で見込んでいるため**大幅な減収**

## セグメント利益

- 金融機関向けアプリケーション製品の大幅減益により、セグメント利益も**減益**

Ⅱ

**持続的成長への取り組み**

**- 設立20周年を迎えて -**

# 設立20周年を迎えて



当社設立の**1997年当時**、OS \* と言えばMicrosoft Windows、UNIX、メインフレームOSが主流であり、**Linux**は趣味の世界のものと見られていました。

ビジネスでLinuxを使うことは非常識、不可能であると考えられていたのです。



そのような中、サイオステクノロジーの前身であるテンアート二は、将来Linuxが趣味の世界にとどまらず、ビジネスの世界も席卷することを確信し、Linuxをあらゆる分野で推進するビジネスをスタートしました。

今日Linuxは、Googleの**Androidスマートフォン**にも使われ、**世界で最も多く使われるOS**となりました。

当社のLinuxを含めた**オープンソースソフトウェア事業**も大きく育ち、当社の礎となっています。

**不可能を可能にする。**これが当社のDNAです。

20周年の節目にあたり、当社は「**世界中の人々のために、不可能を可能に。**」を新たなミッションと定め、イノベーションによって人々の課題を解決し、より良い社会の実現に貢献します。



※Linuxは、Linus Torvalds の商標です。

※その他記載の会社名および製品名は、各社の商標もしくは登録商標です。

# サイオスのミッションステートメント



世界中の人々のために、不可能を可能に。



私たちサイオスグループは、  
イノベーションによって人々の課題を解決し、  
より良い社会の実現に貢献します。



# サイオスが目指す「より良い社会」とは

事業の成長を通して、より良い社会の実現に貢献します



# サイオスが目指す「より良い社会」とは

## 創造性あふれる社会

機械ができることは機械に任せ、  
人々はよりクリエイティブな取り組みを。

システムの  
問題を予測

問題の原因を分析し  
解決をサポート



## SIOS iQ \*

煩雑業務は人工知能（AI）に任せ、AIから得られた情報をもとに  
人にしかできないハイレベルな業務にシフト

データ収集  
データ加工

データストア  
データマート

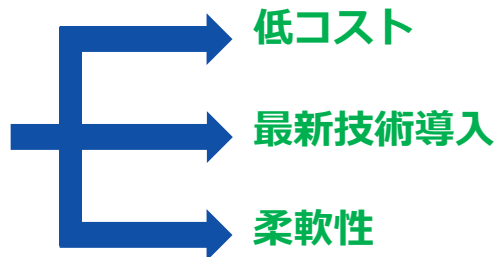
データ分析  
運用・保守



## ビッグデータ基盤インテグレーション

膨大な情報を解析し、誰にでもわかるように可視化することで  
新たなビジネス創造の力になる

サイオス  
OSS



低コスト

最新技術導入

柔軟性

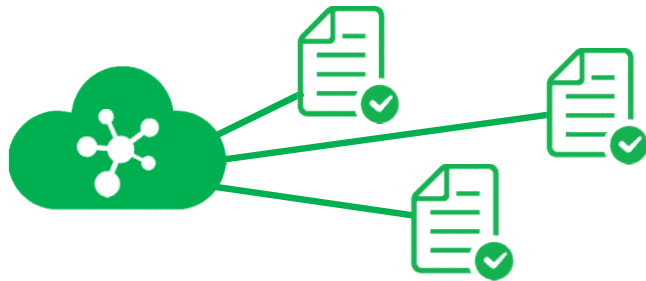
## OSS

オープンソースソフトウェアが、ソフトウェアユーザーに  
新たな選択肢を提供し、特定のソフトウェア開発企業に  
縛られない自由をもたらす

# サイオスが目指す「より良い社会」とは

## 心豊かな社会

楽しく学び、自分らしく働ける機会を。  
不安や心配をなくして心と体に健康を。



## Gluegent クラウドサービス\*

日々の仕事を安心快適にするクラウドサービスを提供し、  
働く人が能力を最大限に発揮できる環境づくりを支援する



## 統合認証ソリューション

保有する多数のID・パスワードを統合することで、より簡単かつ  
安全なログインを可能にし、ユーザーにかかる負担を軽減する

従業員が  
気持ちを記録



管理者が  
気持ちを把握



## Willysm \*

働く一人一人の気持ちを見える化そしてポジティブにすることで、  
職場のコミュニケーションを活性化し、高い生産性を実現する

# サイオスが目指す「より良い社会」とは

## 持続可能な社会

安全で安心できる暮らしを。効率的で賢い資源の利用を。  
生き生きとした地域社会の創生を。

データ  
スキャン

指定フォルダへ  
スピーディに格納

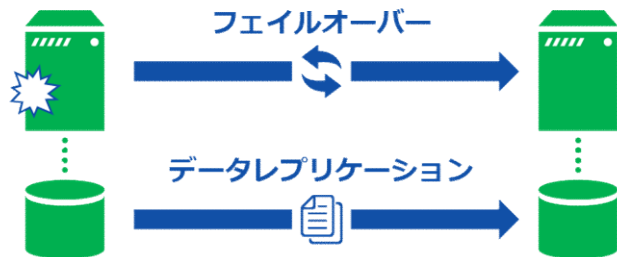


## Quickスキャン・Speedoc \*

デジタルデータにシフトすることで情報の共有・保存・再利用に関する生産性を爆発的に高めるとともに、ペーパーレス化で有限資源の浪費を抑え地球環境保全に貢献

稼働系

待機系



## LifeKeeper

情報システムのダウンを大幅に低減し、自然災害等の発生時にも情報システムへのアクセスを確保、社会全体のパフォーマンスを常に最高水準で支える

統合経営管理  
データベース

分析  
ツール

報告資料



## 金融取引の安心・安全を創る

銀行、証券、保険等の金融取引に安心・安全を生むソフトウェアを提供するだけでなく、地域金融を通じて地域創生に貢献する

# ミッションを実現するための推進力（Driving Force）

## サイオスがより良い社会を実現するための力の源泉



## テクノロジー

保有するテクノロジーに強かに磨きをかけ、  
新たな領域にも果敢にチャレンジ

## ピープル

多様な価値観とキャリアを持つ人材を揃え、  
社員が持てる力をフルに発揮できる環境を整える

## カルチャー

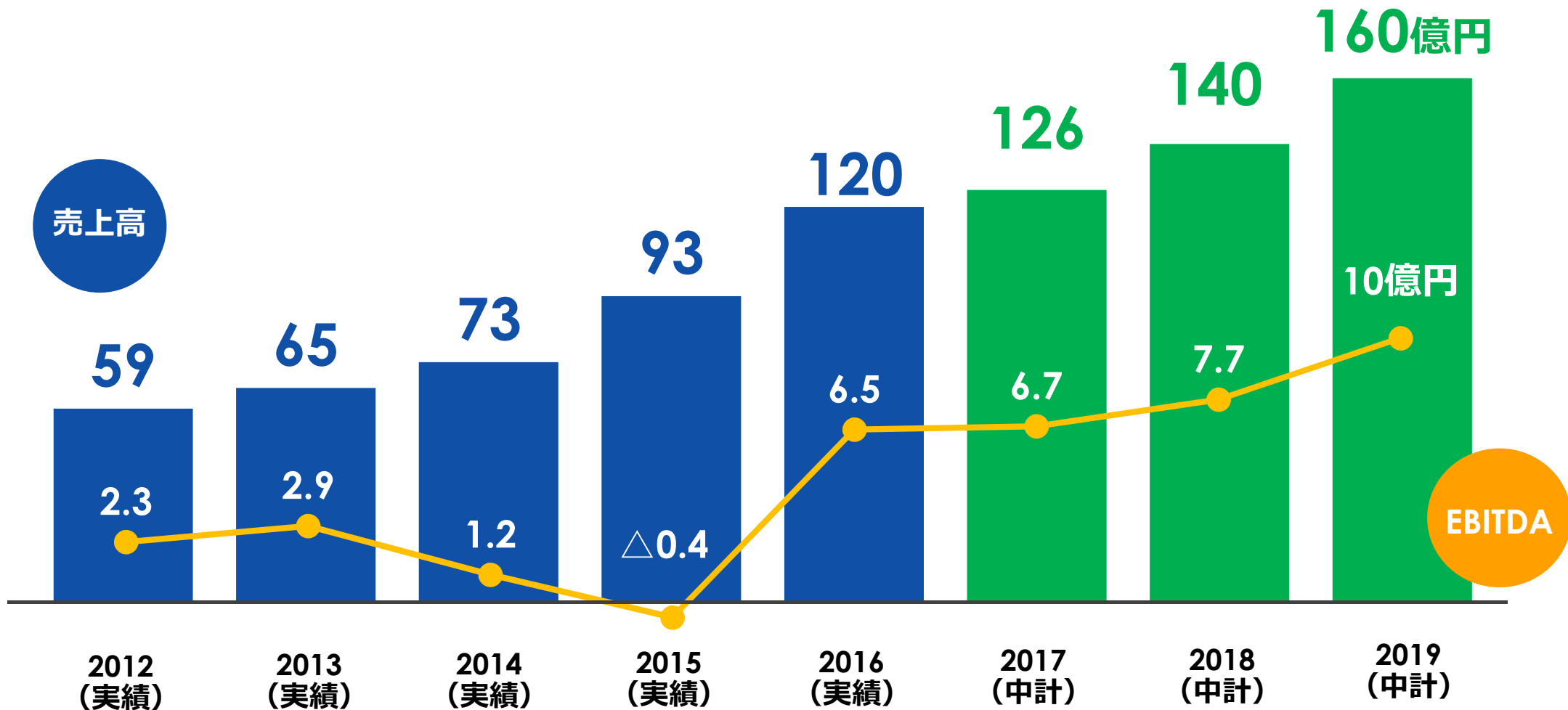
大勢に流されず、人がやらないことに挑戦する  
これが、サイオスグループ創業以来のカルチャー



# 中期損益計画 および通期業績予想

# 中期損益計画について

継続的な研究開発投資、マーケティング力、営業力の強化を推進し、2019年には売上高160億円、EBITDA10億円を目指す



# 2017年12月期 通期業績予想



(単位：百万円)

17年12月期  
1-2Q実績

17年12月期  
通期業績予想

進捗率

売上高	6,226	12,600	49.4%
営業利益	173	500	34.6%
経常利益	184	480	38.3%
親会社株主に 帰属する当期純利益	89	320	27.8%
EBITDA	260	670	38.8%



# 当期の配当

## 前期配当

(2016年12月期)

利益配当を実施せず、**研究開発活動**を優先的に行い、  
中期経営計画の実現を目指しました。



## 当期配当予想

(2017年12月期)

現時点での業績予想を前提に、1株当たり5.0円の復配を予定しています。

	第18期 2014年12月期 (3期前)	第19期 2015年12月期 (前々期)	第20期 2016年12月期 (前期)	第21期 2017年12月期 (当期予定)
年間配当	5.00円	0.00円	0.00円	5.00円

# 用語集

項	用語	説明
12	<b>LifeKeeper</b>	本番稼働のサーバーとは別に同じ環境の予備サーバーを待機させ、万が一の障害の際には自動的に予備サーバーに業務を引き継がせる役割を担うソフトウェア。
12	<b>OSS (オープンソースソフトウェア)</b>	ソフトウェアの設計図にあたるソースコードを無償で公開し、使用・改良・再配布ができるソフトウェア。
12	<b>Red Hat, Inc.関連商品</b>	オープンソースソフトウェア&サービス・プロバイダーRed Hat, Inc.が開発するオープンソースの製品。
13	<b>MFP向けソフトウェア製品</b>	プリンタ、スキャナー、コピー、FAX等複数の機能を搭載した機器をMFP (Multifunction Peripheralの略) という。MFP上で利用できる文書管理ソフトウェア「Quickスキャン」等の開発・販売・保守。
15	<b>OS</b>	Operating Systemの略で、コンピューターを動かすための基本となるプログラム。
18	<b>SIOS iQ</b>	仮想及びクラウド環境においてアプリケーションの稼働状況を包括的に監視・分析・最適化し、パフォーマンスや効率性の向上、信頼性保護を図り、複雑な課題を解決する製品。
19	<b>Gluegent クラウドサービス</b>	社内のワークフローをクラウド化する「Gluegent Flow」等、企業におけるクラウドを利用した業務効率化等を支援するサービス。
19	<b>Willysm</b>	社員の気持ちをデータ化することで、組織全体のストレス傾向把握と社員のモチベーション向上に繋げるソフトウェア。
20	<b>Quickスキャン・Speedoc</b>	複合機のスキャナー機能を利用し、紙文書を電子化するアプリケーション。

## ご留意事項

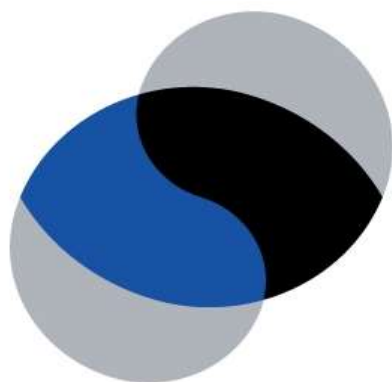
業績予想につきましては、現在入手している情報に基づいた当社の判断であり、不確定要素を含んでおります。実際の業績は、様々な要素により業績見通しとは異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。実際の業績に影響を与え得る重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く経済情勢、市場の動向などが含まれております。但し、業績に影響を与え得る要素は、これらに限定されるものではありません。

### 本件に関するお問い合わせ

サイオステクノロジー (IR)  
**Tel : 03-6401-5111 (代表)**

Webによる場合はこちらからお問い合わせください

[https://lp.sios.jp/MRK\\_Inquiry\\_IR.html](https://lp.sios.jp/MRK_Inquiry_IR.html)



SIOS